

Kit

Product name	Catalog No.	Quantity
PDI Set	PF006-12ML	6 x 2 mL for reaction

Contents

Product name	Product No.
GSSG	PF002-4
PDI	PF006-6
Ero1 α	PF006-7
Dil. Buf.	PF001-DB2

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名称: GSSG
製品番号: PF002-4

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 試験研究用

供給者の会社名称、住所及び電話番号

名称: ジーンフロンティア株式会社
住所: 〒277-0005 千葉県柏市柏 273-1
シャープ柏ビル 4 階
電話番号: 04-7137-6301
FAX: 04-7132-7530
電子メールアドレス: purefrex@genefrontier.com
緊急連絡電話番号: 04-7137-6301

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類、GHS ラベル要素

GHS 分類: 区分に該当しない/分類できない
GHS ラベル要素: 絵表示なし
注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
オキシグルタチオン	27025-41-8	3-5	-

注記: これらの値は、製品規格値ではありません。

この成分表に記載なき成分は、日本政府によるGHS分類結果一覧に収載されていません。

危険有害成分: 毒物及び劇物取締法, 安衛法「表示、通知すべき有害物」, および
化管法に該当しない。

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚(又は髪)に付着した場合	皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。

医師に対する特別な注意事項

医師に対する特別な注意事項に関する情報なし。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法:

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- 皮膚に触れないようにする。
- 眼に入らないようにする。

保管

安全な保管条件

- 容器を密閉しておくこと。
- 指定温度を超えない温度で保管すること。
- 保管温度の上限: -20℃

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

- | | |
|------|---------------------------------------|
| 管理濃度 | 管理濃度データなし。 |
| 許容濃度 | 日本産衛学会の許容濃度データなし。
ACGIH 許容濃度データなし。 |

ばく露防止

設備対策

- 洗眼設備を設ける。
- 手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

- | | |
|------------|------------------------------------|
| 手の保護具 | 保護手袋を着用する。
推奨材質: 非浸透性もしくは耐化学品ゴム |
| 眼の保護具 | 側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。 |
| 皮膚及び身体の保護具 | 保護衣を着用する。 |

衛生対策

- 眼、皮膚、衣類につけないこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

外観	
物理状態	液体
色	透明
臭い	無臭
pH	7 – 8
可燃性	燃焼しない
溶解度	水に対する溶解度: 溶ける

その他の情報

データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性データなし。

化学的安定性

推奨される保管条件/取扱い条件(第 7 章参照)において安定である。

危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし。

避けるべき条件

避けるべき条件データなし。

混触危険物質

混触危険物質データなし。

危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物データなし。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性	
急性毒性 (経口)	データなし
急性毒性 (経皮)	データなし
急性毒性 (吸入)	データなし
局所効果	
皮膚腐食性/刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性	
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	データなし
誤えん有害性	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

水生環境有害性データなし。

残留性・分解性

残留性・分解性データなし。

生体蓄積性

生体蓄積性データなし。

土壤中の移動性

土壤中の移動性データなし。

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし。

13. 廃棄上の注意

廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号または ID 番号	該当しない
正式輸送名	該当しない
分類または区分	該当しない
容器等級	該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程)

該当しない。

IATA 航空危険物規則書

該当しない。

環境有害性

MARPOL 条約附属書 III - 個品有害物質による汚染防止 海洋汚染物質 (該当/非該当)	非該当
---	-----

特別の安全対策

特別の安全対策データなし。

バルク輸送における MARPOL 条約附属書 II 改訂有害液体物質及び IBC コード

本品はバルク輸送されない。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。
航空法に該当しない。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法	該当しない
労働安全衛生法	該当しない
化学物質管理促進(PRTR)法 (令和 5 年 3 月 31 日まで有効)	該当しない
化学物質管理促進(PRTR)法 (令和 5 年 4 月 1 日施行)	該当しない
消防法	該当しない
化審法	該当しない

16. その他の情報

参考文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21th edit., 2019 UN
IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)
IATA 航空危険物規則書 第 62 版 (2021 年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2022 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2021 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発 0111 第 1 号(令和 4 年 1 月 11 日)
Supplier's data/information
GESTIS-Stoffdatenbank
Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

[責任の限定について]

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載した GHS 分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和 3 年度 (2021 年度))です。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名称: PDI
製品番号: PF006-6

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 試験研究用

供給者の会社名称、住所及び電話番号

名称: ジーンフロンティア株式会社
住所: 〒277-0005 千葉県柏市柏 273-1
シャープ柏ビル 4 階
電話番号: 04-7137-6301
FAX: 04-7132-7530
電子メールアドレス: purefrefx@genefrontier.com
緊急連絡電話番号: 04-7137-6301

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類、GHS ラベル要素

GHS 分類: 区分に該当しない/分類できない
GHS ラベル要素: 絵表示なし
注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
Buffer	非公開	0.1-1	非公開
Mineral F	非公開	0.1-2	非公開
グリセリン	56-81-5	25-30	2-242

注記: これらの値は、製品規格値ではありません。

この成分表に記載なき成分は、日本政府によるGHS分類結果一覧に収載されていません。

危険有害成分: 毒物及び劇物取締法, 安衛法「表示、通知すべき有害物」, および
化管法に該当しない。

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚(又は髪)に付着した場合	皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。

医師に対する特別な注意事項

医師に対する特別な注意事項に関する情報なし。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法:

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質 (乾燥砂、土など) に吸収させて、容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

皮膚に触れないようにする。
眼に入らないようにする。

保管

安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。
指定温度を超えない温度で保管すること。
保管温度の上限: -20°C

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度	管理濃度データなし。
許容濃度	日本産衛学会の許容濃度データなし。 ACGIH 許容濃度データなし。

ばく露防止

設備対策

洗眼設備を設ける。
手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

手の保護具	保護手袋を着用する。 推奨材質: 非浸透性もしくは耐化学品ゴム
眼の保護具	側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	保護衣を着用する。

衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

外観	
物理状態	液体
色	透明
臭い	無臭
pH	7 - 8
可燃性	燃焼しない
溶解度	水に対する溶解度: 溶ける

その他の情報

データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性データなし。

化学的安定性

推奨される保管条件/取扱い条件(第 7 章参照)において安定である。

危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし。

避けるべき条件

避けるべき条件データなし。

混触危険物質

混触危険物質データなし。

危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物データなし。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性	
急性毒性 (経口)	データなし
急性毒性 (経皮)	データなし
急性毒性 (吸入)	データなし
局所効果	
皮膚腐食性/刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性	
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	データなし
誤えん有害性	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

水生環境有害性データなし。

水溶解度

(Mineral F) 256 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2006)

(グリセリン) 混和する (ICSC, 2006)

残留性・分解性

残留性・分解性データなし。

生体蓄積性

(グリセリン) log Pow=-1.76 (ICSC, 2006)

土壤中の移動性

土壤中の移動性データなし。

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし。

13. 廃棄上の注意

廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号または ID 番号	該当しない
正式輸送名	該当しない
分類または区分	該当しない
容器等級	該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程)

該当しない。

IATA 航空危険物規則書

該当しない。

環境有害性

MARPOL 条約附属書 III - 個品有害物質による汚染防止 海洋汚染物質 (該当/非該当)	非該当
---	-----

特別の安全対策

特別の安全対策データなし。

バルク輸送における MARPOL 条約附属書 II 改訂有害液体物質及び IBC コード

本品はバルク輸送されない。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。
航空法に該当しない。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法	該当しない
労働安全衛生法	該当しない
化学物質管理促進(PRTR)法 (令和 5 年 3 月 31 日まで有効)	該当しない
化学物質管理促進(PRTR)法 (令和 5 年 4 月 1 日施行)	該当しない
消防法	該当しない
化審法	該当しない

16. その他の情報

参考文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21th edit., 2019 UN
IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)
IATA 航空危険物規則書 第 62 版 (2021 年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2022 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2021 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発 0111 第 1 号(令和 4 年 1 月 11 日)
Supplier's data/information
GESTIS-Stoffdatenbank
Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

[責任の限定について]

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載した GHS 分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和 3 年度 (2021 年度)) です。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名称: Ero1 α
製品番号: PF006-7

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 試験研究用

供給者の会社名称、住所及び電話番号

名称: ジーンフロンティア株式会社
住所: 〒277-0005 千葉県柏市柏 273-1
シャープ柏ビル 4 階
電話番号: 04-7137-6301
FAX: 04-7132-7530
電子メールアドレス: purefrefx@genefrontier.com
緊急連絡電話番号: 04-7137-6301

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類、GHS ラベル要素

GHS 分類: 区分に該当しない/分類できない
GHS ラベル要素: 絵表示なし
注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
Buffer	非公開	0.1-1	非公開
Mineral F	非公開	0.1-2	非公開
グリセリン	56-81-5	25-30	2-242

注記: これらの値は、製品規格値ではありません。

この成分表に記載なき成分は、日本政府によるGHS分類結果一覧に収載されていません。

危険有害成分: 毒物及び劇物取締法, 安衛法「表示、通知すべき有害物」, および
化管法に該当しない。

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚(又は髪)に付着した場合	皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。

医師に対する特別な注意事項

医師に対する特別な注意事項に関する情報なし。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法:

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質 (乾燥砂、土など) に吸収させて、容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

皮膚に触れないようにする。
眼に入らないようにする。

保管

安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。
指定温度を超えない温度で保管すること。
保管温度の上限: -20°C

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度	管理濃度データなし。
許容濃度	日本産衛学会の許容濃度データなし。 ACGIH 許容濃度データなし。

ばく露防止

設備対策

洗眼設備を設ける。
手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

手の保護具	保護手袋を着用する。 推奨材質: 非浸透性もしくは耐化学品ゴム
眼の保護具	側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	保護衣を着用する。

衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

外観	
物理状態	液体
色	透明
臭い	無臭
pH	7 – 8
可燃性	燃焼しない
溶解度	水に対する溶解度: 溶ける

その他の情報

データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性データなし。

化学的安定性

推奨される保管条件/取扱い条件(第 7 章参照)において安定である。

危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし。

避けるべき条件

避けるべき条件データなし。

混触危険物質

混触危険物質データなし。

危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物データなし。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性	
急性毒性 (経口)	データなし
急性毒性 (経皮)	データなし
急性毒性 (吸入)	データなし
局所効果	
皮膚腐食性/刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性	
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	データなし
誤えん有害性	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

水生環境有害性データなし。

水溶解度

(Mineral F) 256 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2006)

(グリセリン) 混和する (ICSC, 2006)

残留性・分解性

残留性・分解性データなし。

生体蓄積性

(グリセリン) log Pow=-1.76 (ICSC, 2006)

土壤中の移動性

土壤中の移動性データなし。

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし。

13. 廃棄上の注意

廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号または ID 番号	該当しない
正式輸送名	該当しない
分類または区分	該当しない
容器等級	該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程)

該当しない。

IATA 航空危険物規則書

該当しない。

環境有害性

MARPOL 条約附属書 III - 個品有害物質による汚染防止 海洋汚染物質 (該当/非該当)	非該当
---	-----

特別の安全対策

特別の安全対策データなし。

バルク輸送における MARPOL 条約附属書 II 改訂有害液体物質及び IBC コード

本品はバルク輸送されない。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。
航空法に該当しない。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法	該当しない
労働安全衛生法	該当しない
化学物質管理促進(PRTR)法 (令和 5 年 3 月 31 日まで有効)	該当しない
化学物質管理促進(PRTR)法 (令和 5 年 4 月 1 日施行)	該当しない
消防法	該当しない
化審法	該当しない

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21th edit., 2019 UN
IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)
IATA 航空危険物規則書 第 62 版 (2021 年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2022 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2021 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発 0111 第 1 号(令和 4 年 1 月 11 日)
Supplier's data/information
GESTIS-Stoffdatenbank
Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

[責任の限定について]

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載した GHS 分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和 3 年度 (2021 年度)) です。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名称: Dil. Buf. (Dilution Buffer)
製品番号: PF001-DB2

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 試験研究用

供給者の会社名称、住所及び電話番号

名称: ジーンフロンティア株式会社
住所: 〒277-0005 千葉県柏市柏 273-1
シャープ柏ビル 4 階
電話番号: 04-7137-6301
FAX: 04-7132-7530
電子メールアドレス: purefrex@genefrontier.com
緊急連絡電話番号: 04-7137-6301

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類、GHS ラベル要素

GHS 分類: 区分に該当しない/分類できない
GHS ラベル要素: 絵表示なし
注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
Buffer	非公開	0.1-1	非公開
Mineral F	非公開	0.1-2	非公開
グリセリン	56-81-5	25-30	2-242

注記: これらの値は、製品規格値ではありません。

この成分表に記載なき成分は、日本政府によるGHS分類結果一覧に収載されていません。

危険有害成分: 毒物及び劇物取締法, 安衛法「表示、通知すべき有害物」, および
化管法に該当しない。

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚(又は髪)に付着した場合	皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。

医師に対する特別な注意事項

医師に対する特別な注意事項に関する情報なし。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法:

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質 (乾燥砂、土など) に吸収させて、容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

皮膚に触れないようにする。
眼に入らないようにする。

保管

安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。
指定温度を超えない温度で保管すること。
保管温度の上限: -20°C

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度	管理濃度データなし。
許容濃度	日本産衛学会の許容濃度データなし。 ACGIH 許容濃度データなし。

ばく露防止

設備対策

洗眼設備を設ける。
手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

手の保護具	保護手袋を着用する。 推奨材質: 非浸透性もしくは耐化学品ゴム
眼の保護具	側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	保護衣を着用する。

衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

外観	
物理状態	液体
色	透明
臭い	無臭
pH	7 – 8
可燃性	燃焼しない
溶解度	水に対する溶解度: 溶ける

その他の情報

データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性データなし。

化学的安定性

推奨される保管条件/取扱い条件(第 7 章参照)において安定である。

危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし。

避けるべき条件

避けるべき条件データなし。

混触危険物質

混触危険物質データなし。

危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物データなし。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性	
急性毒性 (経口)	データなし
急性毒性 (経皮)	データなし
急性毒性 (吸入)	データなし
局所効果	
皮膚腐食性/刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性	
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	データなし
誤えん有害性	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

水生環境有害性データなし。

水溶解度

(Mineral F) 256 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2006)

(グリセリン) 混和する (ICSC, 2006)

残留性・分解性

残留性・分解性データなし。

生体蓄積性

(グリセリン) log Pow=-1.76 (ICSC, 2006)

土壤中の移動性

土壤中の移動性データなし。

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし。

13. 廃棄上の注意

廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号または ID 番号	該当しない
正式輸送名	該当しない
分類または区分	該当しない
容器等級	該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程)

該当しない。

IATA 航空危険物規則書

該当しない。

環境有害性

MARPOL 条約附属書 III - 個品有害物質による汚染防止 海洋汚染物質 (該当/非該当)	非該当
---	-----

特別の安全対策

特別の安全対策データなし。

バルク輸送における MARPOL 条約附属書 II 改訂有害液体物質及び IBC コード

本品はバルク輸送されない。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。
航空法に該当しない。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法	該当しない
労働安全衛生法	該当しない
化学物質管理促進(PRTR)法 (令和 5 年 3 月 31 日まで有効)	該当しない
化学物質管理促進(PRTR)法 (令和 5 年 4 月 1 日施行)	該当しない
消防法	該当しない
化審法	該当しない

16. その他の情報

参考文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21th edit., 2019 UN
IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)
IATA 航空危険物規則書 第 62 版 (2021 年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2022 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2021 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発 0111 第 1 号(令和 4 年 1 月 11 日)
Supplier's data/information
GESTIS-Stoffdatenbank
Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

[責任の限定について]

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載した GHS 分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和 3 年度 (2021 年度)) です。